

油谷小だより

令和2年 10月号
NO.7 9月24日
長門市油谷新別名10666
TEL (0837) 32-1102

油谷小 HP:

<http://member.hot-cha.tv/~yuyashogako/>

長門市立油谷小学校 校長 長廻 修



実りの秋



どんどん秋が深まっています。時折吹く風が、頬をなで、また服の中を通り抜け、とても心地よく感じられる季節となりました。そんな中、先日、5年生が稲刈り体験に出かけたので、私も少しばかり稲刈りをしに行きました。少し遅れて行ったのですが、子どもたちと地域の方々の楽しそうな会話が秋空に響き渡り、もう、稲刈りも中盤に差し掛かっていました。「ライスパーティーは、チャーハンかオムライスかカレーを作ります。」

「オムライスは、卵をまくのが大変だよ！上手にできるの？」
そんな、できあがった後の話が聞かれ、稲刈り作業のやる気も高まっていきました。

さて、田んぼの様子は、例年といささか違っていました。隣の田んぼを見ても、向こうの田んぼを見ても、ほとんどの稲が倒れていました。しかも、枯れて、お米はほとんどできていないようでした。外国から、ウンカという虫が渡って来て、稲の茎を食べ、栄養分を茎から吸い尽くしているとのことでした。

そうして、子どもたちが刈っている田んぼに目をやると、子どもたちの稲は、生き生きと伸び、たわわに稲穂が実っていました。なぜでしょう？不思議に思い、聞いてみました。

そりゃ、子どもを泣かせるわけには、いかんけえね。

開口一番、こんな声が聞かれました。そのため、農薬を与える時期と回数をよくよく考えて、手分けして散布したそうです。田んぼの管理全てを安倍さんはじめ営農組合の方々をお願いしており、どれだけ感謝をしても足りません。中には、10年以上に渡って毎年お手伝いいただいている方もいらっしゃいます。本当に、油谷小の子どもたちは、幸せ者だと感じずにはいられませんでした。休憩中、女子たちが、並んで飲み物を飲んでいる様子を見て、言われた次の言葉も印象的でした。

仲がよくって、今年が一番の5年生ですね。

地域の方々にかわいがっていただいている成果も着実に実を結んでいます。



多目的スペース
掲示版



そわそわのせい
子どもたち
のやさしいお
手伝いもいま
ぱい集まりま
した。

「かじやれ」「やれやれ」
「だじまじやれ」GEM本
なんと十七も集まりま
す。こちらも実っていま

